

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本通運株京滋警送支店	階数	地上3F
建設地	京都府京都市	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域、準防	平均居住人員	0 人
気候区分		年間使用時間	0 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2009年9月25日
敷地面積	4,856 m ²	作成者	日通不動産㈱
建築面積	1,196 m ²	確認日	
延床面積	3,190 m ²	確認者	

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.4**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 0.0**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.8**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.2**

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.3**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.8**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.8**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.3**

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内の緑化に努め、環境負荷の低減に努めた。	その他 高効率照明器具の使用。
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化に配慮した。 また、景観・まちなみに配慮したデザインとした(景観条例適合建築物)
LR1 エネルギー	照明についてタイマー式・自動点滅器を導入し、エネルギーの効力を図った。	LR3 敷地外環境
	LR2 資源・マテリアル 砕石材にリサイクル材を使用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される